



5月園だよ!

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



元気に泳ぐよ こいのぼり

園長 立石 晃子

今年の春は足早で、玄関のバラがもう見頃を迎えています。子供たちの服装は半袖半ズボンになり、入園・進級してもらったカラー帽子を被って元気に外に飛び出していきます。芝生の上で追いかっこをしたり、登り棒や鉄棒に挑戦したり、体も心もはずませて遊んでいます。新しくもらった帽子を被った姿にもこなれ感が出てきました。

園庭にはこいのぼりが揚がりました。毎朝登園のときに子供たちは、頭上の風を受けて元気に泳ぐこいのぼりを指差し、保護者の方に「見て!」と伝えています。微笑ましい光景です。もうすぐ5月5日、「こどもの日」です。こどもの日は昭和23年に制定された「国民の祝日に関する法律」の第二条に「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日と定められています。こどもの日に飾られる鯉のぼりは、中国の「後漢書・李膺伝」に基づいて飾られるようになりました。黄河の上流、山西省と陳西省との間に「竜門」という滝があり、鯉がその急流を登りきり、川幅の広いところまで達することができるとう竜になるという話です。このことから「登竜門」は立身出世のための関門を指す言葉になり、鯉は縁起のよい立身出世の象徴になりました。これにあやかって、子供のこれからの活躍を祈る意味で飾るようになったと言われています。鯉のぼりは、江戸時代は黒い真鯉のみでしたが、次第に対を表す赤い緋鯉や家族を表す青い子鯉が登場し、現在では、回転球や矢車、吹き流しなどもつくようになりました。

園では、学年ごとに経験を意図した鯉のぼりづくりをしました。年少組はシールを貼って初めて自分で鯉のぼりをつくりました。自分の作品を初めて壁面に飾りました。年中組は画用紙や片段ボール、柄の入った紙などを選び、はさみで切り鱗をつくり、糊で貼り、鯉のぼりをつくりました。年少組のときからはさみの経験を積み重ねてきたことで、はさみの扱い方が上手になりました。年長組はグループで製作です。何色にしようか相談したり、力を合わせてビー玉を輪ゴムで包んで絞りを入れたりし、布を染めて作り上げました。各学年それぞれの成長が感じられる鯉のぼりができました。保育室の中には入ることが難しいのですが、テラスからそっとう覧になっていただければと思います。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

幼稚園楽しいね！一緒に遊ぼう！

幼稚園生活が始まって1ヶ月が経ち、自分のしたい遊びや楽しい遊びを見つけ始めました。「幼稚園楽しいね！」「先生、一緒に遊ぼう！」という声が聞こえるようになり、教師に親しみを感じ、幼稚園が安心して過ごせる場所になってきているようです。「〇〇ちゃんおはよう」とお友達の名前を呼んで、挨拶する姿も見られるようになってきました。粘土遊びをしながら、「それどうやって作るの？」と話しかけたり、自分で作ったちょうちょを持って、一緒に散歩に出掛けたりして、少しずつ友達との関わりも増えてきています。リズム遊びも大好きになり、「今日も踊る？」とみんなでする活動を楽しみにする様子も見られるようになってきました。

5月は、子供たちが楽しみにしているお弁当が、いよいよ始まります。ますます楽しくなる幼稚園となるように、戸外でも、追いかっこをして遊んだり、虫探しをしたりと、元気に楽しく過ごしていきます。

< 4 歳たんぽぽ組 >

みんなと一緒にもっと遊ぼう！楽しもう！

入園、進級から1ヶ月が経ちました。新しい名札を付けて、「たんぽぽ組だからできるよ！」と張り切っている姿が見られたり、新しい環境に緊張していた子供たちも、ちょっとずつ表情が柔らかくなり笑顔が見られたりしてきました。また、好きな遊びでは、自分のやりたい遊びを見つけて意欲的に遊び出す姿があちらこちらに見られます。子供たちの考えに触れる度に「それはおもしろいね！」「楽しいね！」「もっとやってみよう！」と、心を動かされる毎日です。

戸外では、大きな砂場で料理を作ったり、山作りをしたりして遊んでいます。また、草花をかき分けて虫探しもしています。室内では、体をたくさん動かして追いかっこをしたり、中型積み木やおままごとセットを使ってお家ごっこをしたりして遊んでいます。友達と一緒に過ごす時間をよりいっそう楽しむことができるように、一人ひとりの様子を見ながら関わっていきます。

< 5 歳ばら組 >

友達の笑った顔が大好き！話すと伝わるね、を日々実感中

進級して1ヵ月。自分のロッカーの場所や個人マークを決めたり、生活グループの名前を相談して決めたりと、いろいろな活動を経験する中で、年長組としての生活がぐっと楽しくなってきたばら組の子供たち。今では、『ここが自分の居場所！』とばら組の保育室に愛着を感じ、のびのびと遊ぶ姿も見られています。それぞれが自分の思いを出せるようになってきた一方、好きな遊びを進める中では、ふとしたことで友達と気持ちがすれ違ってしまい落ち込むことも。ですが、ばら組はそんなときも友達の顔をよく見ればその気持ちが分かる子供たちばかり。落ち込んでいる子の話を聞き、その悩みが解決したときにその子が笑顔に戻るとみんなの顔もホッと安堵の表情に。気持ちが伝わってよかったねと私も嬉しくなる瞬間です。

今月は、好きな遊びや学級全員で遊ぶ時間の充実を図るとともに、夏野菜の苗植え、草花の種まきなどを通して初夏の季節感をも味わえるようにしていきます。